

姉川・高時川の河川環境保全・再生に向けての検討の流れ (第1回WG資料-3補足の改訂版)

丹生ダム計画の見直し案 (H15.5.16) より;

◇姉川・高時川の河川環境の現状

・高時川の中下流部では、瀬切れが毎年のように発生し、様々な影響が生じています。

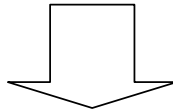


◇姉川・高時川の河川環境の保全・再生に向けて

・姉川・高時川の河川環境は、琵琶湖の生態系、河川の生態系や漁業等利用の観点から、緊急に保全・再生を図る必要があります。

・姉川・高時川に安定した流量を確保し、瀬切れを解消するためには、丹生ダムが有効です。

・農業用水等の削減により河川環境保全のための流量を確保することは極めて困難です。しかしながら、高時川頭首工下流の河川環境改善は急務であることから、引き続き関係者と調整を図ります。



上記に基づき、以下のとおり調査検討を進めています。

河川の現況等の調査

河川環境に関する調査

●アユ、ビワマス遡上、産卵状況

○瀬切れの状況、メカニズム

その他魚類・動植物の状況
瀬切れの状況の変遷
(住民聞き取り)
水質
土砂移動

水利用に関する調査

●農業水利の現況

○流域周辺の地下水

漁業状況
水利用の変遷
(住民聞き取り)

その他関連する調査

●河川水の琵琶湖への流入状況
(雪解け水について)

○河川水の琵琶湖への流入状況
(夏季出水について)

○流域周辺の気象・水文

○琵琶湖水位と丹生ダム運用の関係

●: 前回WGで報告 ○: 今回WGで報告 無印: 次回以降報告



保全再生案の検討

河川の流れのあるべき姿の検討

○高時川に必要な流量の検討



対策案の検討

※本WGとは別に検討

琵琶湖水位低下抑制対策の検討

姉川・高時川の治水対策の検討

水需要の精査確認
異常渇水時の対策の検討

